

科目名	保健体育Ⅱ Physical EducationⅡ			担当教員	中瀬已紀生 吉澤恒星		
学年	2年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	実技	科目番号	14120020	単位区分	履修単位
学習目標	様々なスポーツ種目の実践を通じて、①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、を目指す。						
進め方	学習目標①～③に対応して、スポーツ種目の実践を実技形式の授業でおこなう。なお、種目によっては体力状況を考慮して内容を変更する場合がある。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	スポーツテスト（体育館1・運動場3） ソフトバレーボール（体育館4） バドミントン・卓球（体育館4） ソフトボール（運動場6） ----- [前期中間試験] 実施しない			スポーツテストは文部科学省制定の新体力テスト実施要項に沿っておこなう。 実技の授業は全て出席し、実際に身体を動かす。 実施する種目毎に基礎スキルの実技テストを行う場合がある。 ・学習・教育目標：(A・C・D)			
	水泳（プール8） 体育大会（運動場4） ----- 前期末試験 実施しない			実技の授業は全て出席し、実際に身体を動かす。 実施する種目毎に基礎スキルの実技テストを行う場合がある。 水泳においては、泳力を高めるとともに、授業への参加状況を評価する ・学習・教育目標：(A・C・D)			
	スポーツ大会練習（体育館1・運動場1） バレーボール（体育館7） サッカー（運動場3） 持久走（運動場4 男子3km・女子2.1km） ----- [後期中間試験] 実施しない			実技の授業は全て出席し、実際に身体を動かす。 実施する種目毎に基礎スキルの実技テストを行う場合がある。 持久走においては、走力を高めるとともに、授業への参加状況を評価する ・学習・教育目標：(A・C・D)			
	バスケットボール（体育館7） サッカー（運動場7） ----- 後期末試験 実施しない			実技の授業は全て出席し、実際に身体を動かす。 実施する種目毎に基礎スキルの実技テストを行う場合がある。 ・学習・教育目標：(A・C・D)			
	評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の割合は実技50%、出席状況50%とする。 ・出席状況は見学を-1点とし、欠課を-50/30点として50点満点で評価する（半期毎）。なお、特別な事情がある場合は考慮する。 ・服装髪型や実技中の行動などマナーが守れない者については減点する。 					
履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・実技では指定の体操服を着用すること。 ・水泳授業時は水着・帽子を着用すること。 ・体育館では指定の体育館シューズを履き、運動場では運動靴を履くこと（革靴等不可）。 						
関連科目	保健体育Ⅰ1年→保健体育Ⅱ2年→保健体育Ⅲ3年→保健体育Ⅳ4年→保健体育Ⅴ5年						
教材	教科書：現代保健体育（大修館書店）						
備考	グラウンド状況が不良の場合は、特に運動場での実施種目について学習内容を変更する。 この科目は、本年度内及び進級後に再試験を実施しない。この科目の単位修得が進級要件となるので、必ず修得すること。						